

報道ご関係者各位

2024 年 4 月 10 日
公益財団法人大阪観光局

万博を機に、7 市の首長が団結！ ☁️ 「日本の温泉首都・日本」 温泉ツーリズム推進協議会が発足



日本の観光ショーケース WEB サイトイメージ(ここを通じて世界に温泉の情報を発信する)

<https://osaka-info.jp/special/showcase/>

2025 大阪・関西万博では、日本全国の地方の魅力を発信することがテーマとなっています。東京オリンピックが新型コロナの影響でその機能を十分に発揮することができなかったため、来年の万博がその機能を発揮することが期待されています。

そのような背景を受け、公益財団法人大阪観光局(理事長:溝畑宏、以下「大阪観光局」)は、都内で、「日本の観光ショーケース」のテーマの第一弾となる「日本の温泉首都・日本」温泉ツーリズム推進協議会の発足を、参加自治体の首長全員とともに発表しました。この「日本の観光ショーケース」は、全国の魅力的な地域をさまざまなテーマでつなぎ、大阪をゲートウェイとする全国への送客システムとして、大阪を訪れるインバウンド客に全国各地の魅力的な体験を提案します。



PRESS RELEASE

Osaka Convention & Tourism Bureau

公益財団法人 大阪観光局
大阪市中央区南船場 4-4-21
TODA BUILDING 心齋橋 5 階
TEL (06)6282-5900 (代表)

日本は世界の活火山のおよそ 1 割を保有しており、日本人はその自然の恵みと歴史上密接不可分な生活を送ってきました。温泉と温泉を取り巻く食や景観、四季の変化などの恵みは、日本人の健康・美・長寿にも深く関わっており、また、性別・年齢・国籍・思想などに関わらず、多様性を受け入れ、コミュニケーションの場の機能も果たしており、今でも地域住民と訪れた国内外からの観光客の無形の価値となっています。これらをつなぐことは、地方創生、観光立国、ひいては世界の SDGs にも貢献していく日本の誇りです。

「全国から温泉に対する熱い思いを持った首長さんに集まってもらいました」、と会見の席で大阪観光局の溝畑理事長は参加した首長たちに感謝の言葉を述べました。また「コロナ禍がようやく明け、2025 年に大阪・関西万博を控える今、世界に日本の魅力を伝える大きなチャンスなので、本協議会を発足させた」、と設立の経緯を説明しました。

本協議会は、国内外からの観光客(主にインバウンド客)に対し、温泉はもとより、その歴史や文化、伝統や食、景観など各温泉ならではの魅力をあたかも雑誌の特集記事のように深く掘り下げて発信してまいります。

参加自治体と首長は以下の通り(北から順)

小笠原春一市長(登別市)、田口知明市長(仙北市)、宮元陸市長(加賀市)、
齊藤栄市長(熱海市)、上定昭仁市長(松江市)、野志克仁市長(松山市)、
長野恭紘市長(別府市)

今後の活動としては、地域密着型 WEB サイト・参加型 SNS での温泉地紹介、年 2 回開催予定の各温泉地でのシンポジウム、大阪・関西万博の催事での世界の温泉地を持つ海外パビリオンとの交流・相互の魅力発信など、インバウンドはもちろん、日本人にもその魅力を再発見してもらえるコンテンツを充実させてまいります。

【報道関係の方からのお問合せ先】

公益財団法人大阪観光局 日本の観光ショーケース本部
砂野・小川 TEL:06-6282-5910